学校番号	2101

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	（学）数学演習Ａ	単位数	２単位	年次	３年次以上 （数学Ⅰ履修済後）
使用教科書	使用しない						
副教材等	「３ＲＯＵＮＤ　数学Ⅰ」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、みずから考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・数学Ⅰ・Ａの分野（数と式、２次関数、図形と計量、個数の処理、確率）の知識をおさらいし、理解をより深めるために問題演習をします。入試に対応できる技能の習熟を図ります。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
数学ⅠＡの内容について、概念を理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図ることを目標とする。
【思考力、判断力、表現力等】
数学ⅠＡの内容について、事象を数学的に考察する能力を培うことを目標とする。
【学びに向かう力、人間性等】
数学ⅠＡの内容について、数学のよさを認識し、習得した知識、習熟した技能、事象を数学的に考察する能力等を活用する態度を育てることを目標とする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学Ⅰ・Ａの内容を中心とした問題に対して、正確な解答を導き出せるようになる。	公式の成り立ちを理解し、その公式を用い自ら考え判断し、問題に取り組むことができる。どのような過程で解くかの途中式を自分で書くことができるようになる。	学んだ公式や解法を問題演習等において積極的に使うことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前半	数と式	第1章　数と式（数学Ⅰ） 整式とその計算 因数分解 実数と平方根 式の値 1次方程式と1次不等式 絶対値記号を含む方程式･不等式 集合 命題の真偽、必要･十分条件 逆･裏･対偶と証明	a:計算力を養う。 b:式変形がスムーズに行えるかどうかを確認する。 c:様々な入試問題に意欲的に取り組む。	単元テスト・プリント	単元テスト・プリント	授業態度
	2次関数	第2章　2次関数（数学Ⅰ） 2次関数とグラフ 2次関数の最大･最小 2次関数の決定 2次方程式 2次関数と2次方程式 2次関数と2次不等式 いろいろな最大･最小問題 2次方程式の解の配置 絶対値記号を含む関数	a:平方完成をしてグラフを書き、関数と方程式の繋がりを理解する。 b:与えられた条件から関数を特定し、方程式にもつなげていく。 c:様々な入試問題に意欲的に取り組む。	単元テスト・プリント	単元テスト・プリント	授業態度
後半	図形と計量	第3章　図形と計量（数学Ⅰ） 三角比の値 三角比の相互関係 正弦定理と余弦定理 三角形の面積 空間図形への応用	a:三角比を認識し、三角形と単位円を連動して考える。 b:単位円に三平方の定理をあてはめ図形を活用し、正弦定理と余弦定理にもつなげる。 c:様々な入試問題に意欲的に取り組む。	単元テスト・プリント	単元テスト・プリント	授業態度
	場合の数と確率	第1章　場合の数と確率（数学A） 集合の要素の個数 和の法則と積の法則 順列 組合せ 確率とその基本法則 独立試行と確率 条件つき確率	a:　和の法則や積の法則の見極め方が同時に起こりうるかどうかで判断させ、それに伴って計算する。 b:並び方や選び方を、図を使用しながらそれぞれのパターンについて何通りあるかということを理解させる。 c:日常のあらゆるものを利用してイメージをつかむ。	単元テスト・プリント	単元テスト・プリント	授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度